



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成23年09月12日 第528号「週刊五十嵐レポート」

社長の悩み・課題

社長の悩み・課題は尽きません。先日大阪で「組織戦略」セミナーを開催したときの受講者の悩みは課題について書いてもらいました。

- ・業績の伸び悩み ・人員の配置 ・組織運営の強化
- ・中間管理職をどうやって作るか ・人員の先行投資について
- ・組織力をつけるための教育

同じ中小企業の社長と言っても役割が違います。それは従業員の数で変わってきます。役割が変われば、悩みや課題も変わってきます。

訪問型の営業の会社の場合、1人～10人までの社長、11人～29人までの社長、30人～99人までの社長、100人超の社長と大きく4つに分けられます。

1人～10人までは会社組織は平屋建、11人～29人までは2階建、30人～99人までは3階建、100人超は4階建になっていきます。

平屋建組織の場合の社長は、経営の目標、戦略、仕組み作り、リーダー、戦術とすべてを行い、現場の戦術活動が一番ウエイトが重く、忙しい社長です。2階建組織は、社長は戦術の現場から離れていきますので、リーダーの役割が多くなります。若干時間ができますので、戦略の研究や仕組み作り、従業員教育に時間を割いていきます。

3階建組織になると社長はリーダーを外れ、リーダーを従業員に委ねます。社長はリーダー(中間管理職)を通して現場に指示していきます。2階建から3階建に移行する時が一つの大きな山になります。リーダーの育成が最大課題になっていきます。

従業員の数、すなわち組織の大きさ(階層)によって社長の悩み・課題は変わっていきます。まずは社長の役割を把握しておくことです。

ちょっと
気になる出来事

9月11日(日)付、日経新聞に「日経ビジネスイノベーションフォーラム 第3回電子手形フォーラム『ひろがる・つながる電子記録債権』」という広告がありました。

電子記録債権法に基づく新たな決済「電子手形」もサービスを開始から2年経過。紛失・盗難リスクの回避や分割譲渡といった紙の手形にはない便益、中小企業がFAXで資金調達に活用できる手軽さから順調に普及が進み、本格稼働の時代を迎えようとしています。

本フォーラムは、電子手形の活用方法と今後の展望を伝えていくようです。東京開催10月11日(火)、名古屋開催11月1日(火)、大阪開催11月14日(月)。詳細は「日経アドネット」でクリック。

2年前に第1回に出席しました。大企業が納入業者(中小企業など)に通常手形を振り出していたものを電子手形に替え、印紙税の削減や業務効率化を狙っていました。納入業者の中小企業にも分割譲渡などメリットはあります。トヨタなども実施するようです。大手企業に納入している中小企業経営者、経理担当者は必見です。



一口メモ
成功の秘訣

目的を貫く

自分を忘れて人のために働く、
ただ人のためを思っの事業経営は、すべての人から喜ばれ、
周囲の人から支えられ、助けられていく。
ゆえに、「この仕事は、あくまで、世のため人のためにするのだ」
という目的がはっきりと立って、
いつまでもそれ(初志 創業精神)を貫き通す、
これが繁栄の秘訣である。
もし何か故障の起ったとき、まずこれの「目的」に曇りはないか、
かえりみるべきである。

丸山敏雄「一日一話 幸せになるための366話」より

- ・週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行
 - ・町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時～12時。
 - ・町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催
- ㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

